

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		人文情報学 1 A Informatics in Humanities 1A				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 安岡 孝一			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	月4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
[授業の概要・目的]											
この授業では、コンピュータや通信において用いられる文字コードについて、講義をおこなう。文字コードの技術的側面のみならず、文字コードの成立過程などの歴史的・社会的側面に重点をおいて、演習形式で講義を進める。											
[到達目標]											
文字コードの技術的側面を中心に、現代の文字コードに至る過程を理解する。											
[授業計画と内容]											
以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業をする予定である。											
<ol style="list-style-type: none"> 1. モールス符号の変遷 2. 印刷電信機とその符号 3. 国際電信アルファベットとCCIT 4. 日本における電信符号の発展 5. ASCIIとISO R 646とJIS C 6220 6. JIS情報交換用漢字符号系の成立 7. 1970～80年代における文字符号の乱立 8. ISO/IEC 10646とUnicode 											
[履修要件]											
特別な予備知識は必要としないが、インターネットへのアクセスや電子メールの使用経験があることが望ましい。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
授業参加[議論]内容(50%)とレポート(50%)											
[教科書]											
適宜、資料を配布する。											
[参考書等]											
(参考書) 安岡孝一・安岡素子 『文字符号の歴史 欧米と日本編』 (共立出版) ISBN:4-320-12102-3 (2006年)											
[授業外学習(予習・復習)等]											
欧米と日本の近代史、特に20世紀の歴史について、事前に多少なりとも理解しておくこと。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーは特に定めないが、講義時間外の連絡は基本的に電子メールでおこなうこと。											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											